

日本基礎心理学会 2009 年度第 2 回フォーラム

臨床的問題への 基礎心理学的アプローチ

主催： 日本基礎心理学会

共催： 東北福祉大学感性福祉研究所(私立大学戦略的研究基盤形成支援事業)

協賛： 日本認定心理士会北海道東北支部

日時： 2010 年 3 月 13 日 (土) 14:00~17:00

会場： 仙台青葉カルチャーセンター (ブラザー仙台ビル 6F)

<http://www.culture.gr.jp/sendaiaoba/index.htm>

丹野 義彦 (東京大学)

「基礎心理学と臨床心理学の協調は欧米のトレンドである」

室橋 春光 (北海道大学)

「発達障害研究と認知科学」

松江 克彦・河地 庸介 (東北福祉大学)

「統合失調症の病態解明への実験心理学的アプローチ」

箱田 裕司・宋 永寧 (九州大学)

「逆ストループ課題と Navon 課題を用いた
注意障害 (ADD) へのアプローチ」

企画・司会： 行場 次朗 (東北大学)

従来より基礎と臨床の補完性、あるいはギャップの問題は、非常に大きな問題として、何度も取り上げられてきました。例えば、2004 年に故・本田仁視新潟大学教授が主宰された日本基礎心理学会第 23 回大会においても、「基礎と臨床—共通の言語を求めて」というシンポジウムが開催されました。

近年、基礎と臨床の共通言語の摸索段階を跳び越えるような勢いで、例えば、統合失調傾向、自閉性障害傾向、注意障害傾向などの問題に対する基礎心理学的手法によるアプローチが盛んになっています。それらの研究では、単なるスクリーニングテストや診断ツールの役割を超えて、障害や病態の本質やメカニズムに迫るような知見が続々と提供されつつあります。

本フォーラムでは、このような研究領域で先端を走る 4 人の講演者をお招きして、最新の見解や今後の展望について議論します。皆様のご参加を心より御待ちしております。

入場無料・参加申込不要

本フォーラムは日本認定心理士会第 23 回北海道・東北支部研修会を兼ねて行われます。

お問い合わせ：〒980-8576 宮城県仙台市青葉区川内 27-1
東北大学大学院文学研究科心理学研究室
E-mail: psycho@sal.tohoku.ac.jp
Tel: 022-795-6048 Fax: 022-795-3703